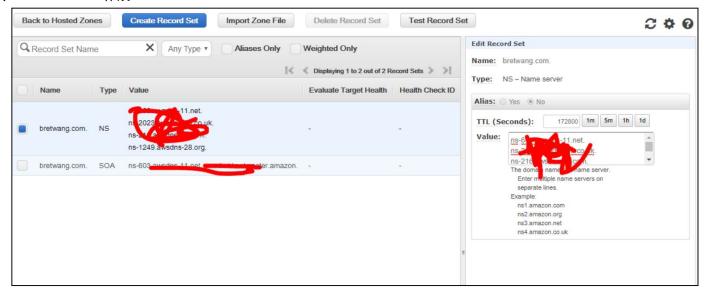
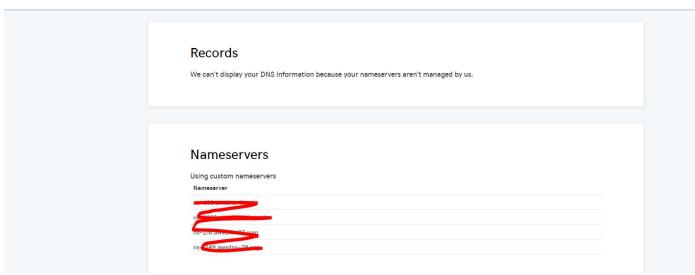
1、EC2のセキュリティグループに443Portを追加する

- 2、apache ssl 設定 yum install mod_ssl openssl service httpd restart
- 3、Route 53 Zone作成







証明書のリクエスト

ステップ 1: ドメイン名の追加 ステップ 2: 検証方法を選択する ステップ 3: 確認とリクエスト

ステップ 4: 検証

6 進行中のリクエスト

証明書のリクエストが作成されましたが、その状況は検証保留中になっています。証明書の検証と承認を完了するには、追加 のアクションが必要です。

検証

0

以下に示すドメインごとに、DNS 設定で CNAME レコードを作成します。AWS Certificate Manager (ACM) が証明書を発行する前にこのステ ップを完了する必要がありますが、ここでは [Continue] をクリックしてこのステップをスキップすることができます。後でこのステップに戻 るには、ACM コンソールで証明書リクエストを開きます。

検証状態 ドメイン

検証保留中

ドメインの DNS 設定に次の CNAME レコードを追加します。CNAME レコードを追加する手順は、お使いの DNS サービスプロバイダに よって異なります。詳細はこちら。

名前 タイプ 値 LENAME CNAME da 8d57.acm _9a8b9c0084 _a5a5 validations our ng.com.

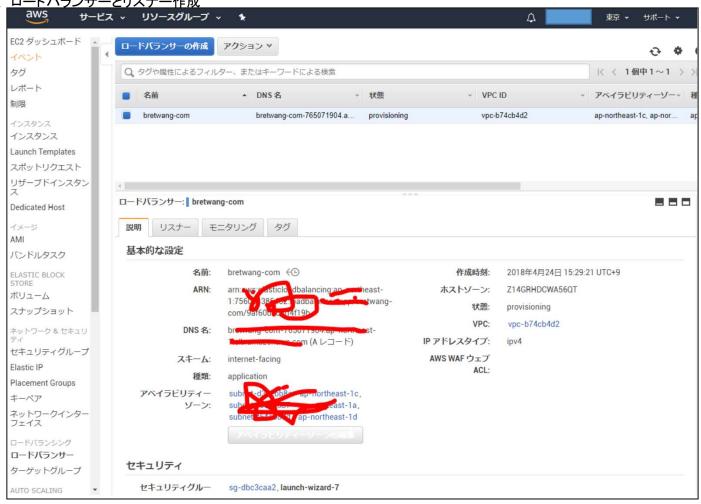
注意: DNS 設定を変更すると、ACM は、DNS レコードが存在する限り、このドメインとサブドメイン用の証明書を発行できるようにな ります。アクセス許可は、レコードを削除することでいつでも取り消すことができます。詳細はこちら。

Route 53 でのレコードの作成 Amazon Route 53 DNS のお客様 ACM はお客様の DNS 設定を更新できます。詳細はこちら。

≛ DNS 設定をファイルにエクスポート すべての CNAME レコードをファイルにエクスポート

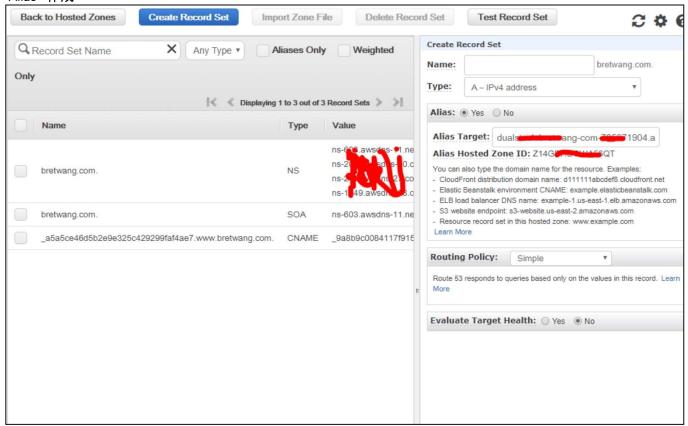
続行

6、ロードバランサーとリスナー作成





7、Alias 作成



8、完了!